



# 清風

南砺市立上平小学校  
学校だより  
令和2年9月  
上平小学校ホームページ  
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

## 「子供が育つきっかけは…」

教頭 高田 篤志

今年度1回目の学校評価を保護者の方々にしていただきました。23項目中20項目は、80%以上の高評価をいただきました。しかし、①「家庭学習の習慣化」②「規律ある生活習慣」③「ゲーム、SNSの約束時間を守る」の3項目については、目標の80%を切る結果となりました。この3項目は、複数年に亘って数値が伸びにくい状況です。学校での取組の他、各ご家庭や地域の皆様と一体となった取組が不可欠のようです。

平成4年度から4年間、下梨小学校で勤務をさせていただいた頃の話です。教員としても人間としても未熟な私は、地域の方々との出会いを大切にし、その中で多くのことを学ばせていただきました。その経験を子供たちとも共有したいと考え、地域の方々との出会いの場を学習の中で多く取り入れるようにしました。中でも、子供たちを大きく変えたのは、ある和紙漉き職人さんとの出会いでした。どうしてこれほど苦勞の多い和紙漉きを続けられるのかという子供の問いに、その職人さんはこう話されました。「和紙漉き平三郎の手記には、こんなことが書いてあります。…紙すきの技術もいろいろありますが、昔の技術に及ぶものはありません。改良と言いますが、その多くは粗製か手を抜く方法でした。こんな有様では、紙は年とともに悪くなるばかりです。これではいけないと、かねがね私だけでもよい紙を漉きたいと考えてそれを実行に移したのです。…」それまで、一つ一つの工程を学び、地道で苦勞の多い作業を体験してきた子供たちは、その言葉を聞き、霧が晴れたような表情に変わるのが分かりました。その後、乱雑な字を書きがちだった子供が、一字一字丁寧にぎっしりとまとめを書く姿や、学校生活でのあらゆる作業や学習によりひたむきに粘り強く取り組む姿、一枚の紙切れも大切に使う姿など、生き方そのものを高めていく姿が数多く見られるようになりました。

子供たちが育つきっかけは、身近なところに数多くあります。そのきっかけづくりは、我々教員や周りの大人の大切な責務だと思うのです。



## 本校の課題に応じた体力づくりの工夫について

体育主任 竹原 昇

休校明けの6月から、もりもりタイムに8秒間走と仲よし運動を毎週各1回行ってきました。子供たちは目当てをもって運動に取り組んだり、異学年と運動をしたりする楽しさを味わうことができました。しかし、スポーツテストを体育科の時間に実施した結果、本校児童は①股関節の可動域が狭い子供が多い。②バランスよく体を動かすことができる子供が少ない。という課題があることが分かりました。そこで、体育専科教員が中心になり、もりもりタイムや体育科の時間にタンポポ体操をして股関節の可動域を広げるように指導しています。また、週2回のもりもりタイムに5分間走を行い、2分30秒で走る方向を変えることで、使う筋肉をバランスよく鍛えながら持久力を高める指導に努めます。

